

広報誌・定期刊行物の御紹介 (1)

本校には、様々な機関や団体からの広報誌や定期刊行物が送られてきます。自立活動関係のものについていくつか御紹介します（掲載は順不同です）。

ろう教育の“明日”（ろう教育を考える全国協議会）

手話や日本語指導に関する様々な連載記事、全国各地の研修会の案内、参加報告を掲載しています。編集をしている「ろう教育を考える全国協議会」は、様々な団体の方が集まり、ろう教育に関する様々な問題を話し合っています。

ろう・難聴教育研究会

今から40年ぐらい前、ろう教育の研究会は、聴者のろう学校教師が中心でした。1981年にトータルコミュニケーション研究会（TC研）としてスタートしたこの会は、ろう教育の当事者である聴覚障がい者が、聴者の教師や保護者、研究者らと共にろう教育について研究する、日本で初めての組織となりました。この会報は、会報というよりも研究雑誌に近いような記事が数多く投稿され、読みごたえがあります。



一期一会（全日本ろう学生懇談会）

全日本ろう学生懇談会は、略して「全コン」と呼ばれ、大学・大学院等で学ぶ聴覚障がい学生の全国的組織です。昨年度は、四国支部長に本校卒業生のSさんが就任して様々な活動を企画した他、広報部の一員として本校卒業生のMさんもこの会報誌の編集に携わっていたようです。ホームページやフェイスブック、ツイッター等でも積極的に情報発信をしています。

全聴教（全国聴覚障害教職員協議会）

1994年8月設立の全国聴覚障害教職員協議会は、全国の聴覚障がい教職員と趣旨に賛同する人たちによる、互いの研修と情報交換、親睦を主な目的とした会です。大会・セミナー報告、実践報告等の内容で、年4回発行です。

これらの広報誌や会報は、いずれも職員室前の新聞書見台の横にあります。探してみてください。（4ページにも紹介記事がありますので御覧ください。）

聴覚障害者のための法律相談の御案内

相談内容: 教育、福祉、労働、結婚、財産関係等、聴覚障害者の生活全般に関わる法律相談

対象: 全国の聴覚に障害のある成人、その家族及び聴覚障害児の保護者、または指導関係者

相談申込み方法: FAX、Eメール、または郵送による

【宛先】 FAX 03-6907-2915 TEL 03-6907-2537
Eメール wasedanomori@amethyst.broba.cc
郵便 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11
福祉財団ビル5F
公益財団法人 聴覚障害者福祉協会

相談日: 常時 (但し、土日祝日を除く)

相談費用: 原則として、初回法律相談は無料

相談担当: 村田・若槻法律事務所

東京都千代田区麴町 2-12 VORT半蔵門 3階
弁護士 村田 雅夫 先生

この法律相談は、聴覚障害教育福祉協会が毎年実施している事業の一つで、全国聾学校長・聴覚特別支援学校長宛に送られてきた案内を転載し、御紹介しています。

F M補聴システム無償貸出の御案内

毎年、聴覚障害教育福祉協会が実施している事業です。

F M補聴システムは、マイクを通して入る話し手の声を F M電波に変え、聞き手に直接届けることができるシステムです。今年度は、これまでのタイループ接続型 (受信機を補聴器や人工内耳に取り付けるのではなく、首からタイループをかけ、ループシステムと同じ要領で音を届ける) ではなく、受信機接続アダプターを使用するタイプが貸し出されるようです。

申込みは、学校で取りまとめて行いますので、興味がある方、申込みを希望される方は、担任の先生を通じて本校の自立活動担当者まで御相談ください。



貸与期間: 3 ~ 5 年

経費: こん包・送料 1 台につき 2000 円を保護者の方に負担していただきます。(F M補聴システム本体は無料貸出)

校内締切: 平成 30 年 7 月 9 日 (月) 必着

※ 貸出しの可否は 8 月末に決定されます。



第13回手話検定試験



申し込みが開始されました!

昨年度は、本校で4級と3級の団体受験を実施しました。本校の生徒、教職員、保護者が4級(13名)と3級(17名)にチャレンジし、見事、全員合格を果たしました。

今年度は、本校での団体受験はありませんので、一般会場での受験となります。愛媛県では、5級から2級の試験が受けられます。準1級と1級は、四国では、香川県と高知県で実施されます。

興味がある方は、ぜひトライしてみたいかがでしょうか。本校3階の発音発語室に受験対策用のテキストがありますので、御一読をおすすめします。

試験に関する細かな内容は、全国手話検定試験のホームページに掲載されています。受験の手引きの請求をはじめ、問い合わせは、全国手話検定試験事務局へどうぞ。本校の自立活動担当者にお尋ねいただいてもかまいません。



全国手話検定試験



第5回手話パフォーマンス甲子園

期日: 平成30年10月7日(日)
 会場: 米子コンベンションセンター
 出場: 20チーム(予選審査通過チーム)
 参加資格: 高等学校、特別支援学校高等部、
 高等専門学校(3年迄)等 在籍者
 参加申込み締切: 7月6日(金)

※ 実行委員会からのパンフ、案内資料は、職員室前の新聞書見台にあります。

昨年、中学部の自立活動の時間に Youtube で大会の様子を視聴しましたが、聞こえる生徒の演技も、聞こえない生徒の演技も迫力があり、感動しました。今年のパフォーマンスにも期待しています。



第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山

メインテーマ『手話言語法・条例をろう教育、福祉の発展につなげよう』

期 日: 2018年8月25日(土)～8月26日(日)
 会 場: 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)
 内 容: 開会式、全体会、分科会、特別講座、交流会 等
 参 加 費: 一般参加者 6000円
 ろう教育を考える全国協議会会員 4000円
 申込締切: 2018年7月10日(火)
 問 合 せ: 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会
 〒930-0806 富山県富山市木場町2-21
 TEL 076-441-7331 FAX 076-441-7305
 E-mail info@tomichokyo.or.jp

※ 大会パンフレットは

<http://www.tomichokyo.or.jp/association/deaf-ed2018toyama.pdf>で

小・中・高校生企画は…

3,000m級の北アルプス、立山連峰のふもとで、ダイナミックな自然のすばらしさを体感してみよう!
 場所: 国立立山青少年自然の家
 参加費: 1人 7,000円(食事代・交通費・保険料含)



広報誌・定期刊行物の御紹介 (2)

楢と徒歩 (愛媛県手話通訳問題研究会)

愛媛県手話通訳問題研究会、略して「ひめ通研」の会報誌です。会員による記事投稿、手話通訳に関連するフォーラムや研修会の案内が掲載されています。因みに「楢」は「杉(すぎ)」のことだそうです。

えひめ聴障 (愛媛県聴覚障害者協会)

県内を中心とした聴覚障がい者に関する各種イベントの紹介、聴覚障がい者に関するテレビ放送の予定、映画の日本語字幕上映スケジュール等を掲載しています。

編集後記 みみちゃん80号を作成し始めた5月の中旬、職員室で同僚の先生が、ある新聞記事を見せてくれました。新居浜市の企業が開発した手話フォンの記事で、いくつかあった小見出しには「空港や『盲』学校に設置」とありました。その先生は、すぐにその新聞社に電話をしたそうです。思えば私が新採教員だった30年近く前に、学校のすぐ近くの店でマジックや画用紙等をまとめて買ったときのこと。もらった領収書には「松山『老』学校様」の文字が書かれていました。何度もお世話になっている店だったのですが……。当時のベテランの先生がこのことを聞いて「啓発が足りない」とおっしゃっておられたのを覚えています。30年近くたってもまだ道半ばを感じた話でした。
 ※『』はみみちゃん担当者が付け加えています。